

第2回宇宙輸送システム部会 議事要旨

1. 日時：平成25年4月4日（木） 10:00-12:00
2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室
3. 出席者
 - (1) 委員
山川部会長、白坂部会長代理、緒川委員、木内委員、鯨井委員、松尾委員、御正委員
 - (2) 事務局
西本宇宙戦略室長、明野宇宙戦略室審議官、國友宇宙戦略室参事官、山田宇宙戦略室参事官
 - (3) 説明者
遠藤JAXA理事、稲谷ISAS教授
4. 議事要旨
冒頭、委員に交代がある旨、事務局から紹介があった。
 - (1) 第1回宇宙輸送システム部会での議論のポイント
事務局から資料2に基づいて説明を行ったところ、各委員の発言について若干の修正があった。
 - (2) 宇宙輸送システムの動向について（JAXAからのヒアリング）
JAXAから資料3について説明を受け、以下のような意見があった。
 - ロケット需要が横ばいで推移するという見通しの中で、SpaceXなどの安価なサービス供給者が現れており、我が国としてこの市場で競争するために大型投資を行うべきかは慎重な検討が必要。現在の市場で国際競争力を獲得していくには大きな覚悟が必要である。
 - 技術基盤の維持は重要である。新規のロケット開発を行わなくても打ち上げ能力を保持していくことは可能であるが、国際競争力を獲得するためにはシステムとしてのロケット開発の経験が必要であることから、切り離して議論するべき。
 - 打ち上げサービスは能力と価格だけで決まるものではないため、ユーザーの評価軸についても精査しなければ、ユーザー視点に立ったサービスが提供できない。

以上